

ニューズレター No.111

発行人 谷川 裕稔
2021(令和3)年7月6日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.111をお届けいたします。今回は、

- (1) 総会のご案内
- (2) 第16回全国大会開催のご案内
- (3) 「特集記事」原稿募集のお知らせ
- (4) 東海北陸支部協賛 研究会開催報告

についてお知らせいたします。

総会のご案内

全国大会の開催期間中に、学会、各支部会、各部会の総会が開催されます。総会はすべて、全国大会の参加の有無にかかわらずご参加いただけます。

■開催日時

8月18日(水)

- 15:55-16:25 定時総会・表彰式
- 16:30-16:40 北海道支部、東北支部、関東・甲信越支部、関西支部の総会
- 16:45-16:55 東海・北陸支部、中国・四国支部、九州・沖縄支部の総会
- 17:00-17:10 医療系部会、ICT活用教育部会、学習支援部会、学習言語部会の総会

8月20日(金)

- 10:20-10:30 英語部会総会
- 14:10-14:20 日本語部会、学校教育部会、理数系部会の総会

■開催方法

ZOOMを利用します。

総会の参加に必要な、URL・ID・パスワード、配布資料などはメンバーリングリストで配信します。

第16回全国大会開催のご案内

16回全国大会は、2021年8月18日(水)～8月20日(金)にオンラインで開催されます。

■テーマ:新時代の学びを支える教育とは?

来たるべき Society5.0 時代に向けて、現在、大学教育は大きく変わろうとしています。技術革新が進んでいく新たな時代においては、AI やロボティクスなどにはない人間ならではの強みを持ち、新たな社会を牽引する人材を育成することが求められます。新たな時代に活躍できる人材を育成するために、今後大学のリメディアル教育はどのように対応していく必要があるのでしょうか。今回の大会では、高校・大学での先進的な取組に着目し、新時代の学びを支える教育について、参加者と一緒に考える機会を提供します。

■日程

2021(令和3)年8月18日(水)～8月20日(金)

■会場

オンライン開催(全国大会プラットフォームにアクセス)

*参加費の支払いを完了された方に、後日アクセス方法等をご案内します。

■プログラム

[大会プログラム](#)(PDF)

18日(水)

口頭発表 総会 専門部会

19日(木)

基調講演:「student success のための学習支援のありかた～次世代～大学を創るための21の提言～」

講演者: 熊本大学 教授システム学研究センター 教授

鈴木 克明(すずき かつあき)氏

熊本大学大学院社会文化科学教育部教授システム学専攻 (兼任)

現地企画：高大接続教育に関するフォーラム

（愛媛大学・愛媛大学附属高校の取組～早期の”動機付け”から”深い学び”へ～）

学習支援センター交流会

20日（金）

口頭発表 専門部会

■各種お知らせ

[事前参加申込み](#)

* 事前の参加申し込みにご協力をお願いいたします。

■参加費

5,500円

参加費の支払い方法は、(a)郵便振り込みと(b)クレジットカード払いがあります。

(a)郵便振り込みで支払う方は、8月2日(月)17:00までに、上記システム上での参加申込みとその後の郵便局での入金、両方も完了させてください。

(b)クレジットカードで支払う方は、システムからの申込みが大会開催期間中まで可能です。参加申込みと同時にカード決済をしますので、クレジットカードをご用意ください。

■ご注意

1. 参加申込みをしても、支払いがなかった場合は、全国大会プラットフォームにアクセスすることはできません。
2. 支払い後のキャンセル・返金(手数料を除く)はできません。

■発表参加申込サイトログイン上の注意

1. 会員番号(年会費請求書に記載)とパスワードが必要です。
2. パスワードを忘れた方は、マイページの「パスワードを忘れた方はこちら」からお手続きください。
3. 非会員、会員申請中の方には、受付IDが発行されます。

■開催方法

ZOOMを利用します。

必要なURL・ID・パスワード、配布資料などは後日配信します。

「特集記事」原稿募集のお知らせ

JADE編集委員会は、次号(『リメディアル教育研究』第16巻)において、以下のテーマで「特集記事」を計画しています。

特集：ポストコロナ時代におけるオンライン活用を通じた新たなリメディアル教育

テーマに関連する原稿を以下の通り募集しますので、奮ってご応募ください。所属する専門部会に関係なく、全会員が応募できます。

1. 特集の趣旨

コロナ禍でのオンライン活用教育の経験知は、ポストコロナ時代の新たな日本の高等教育改革に繋がる貴重な機会や知見となり得る。ポストコロナを見据え、オンライン活用を通じた新たなリメディアル教育の提言を目的に原稿の募集を行う。

2. 本特集が求める原稿の内容

コロナ禍での経験を踏まえ、ポストコロナ時代を想定したオンライン活用教育手法の提案や教育実践に関する論文を募集する。本特集で扱うリメディアル教育は、オンラインを活用して知識の補完を図る教育を対象とする。従って、教育内容は教科に関係しない。また教育手法も従来の初年次補習教育に限らず、専門も含むカリキュラム群での反転学習も含め、オンラインを活用し、知識等を補完する工夫を伴う研究成果を歓迎する。

3. 募集する原稿種別

- (1) 論文 または 研究ノート
 - (2) 実践研究論文 または 実践報告
- ※言語、書式、規程枚数等は、全て投稿規程に準じます。

4. 特集記事への原稿提出方法

本企画の趣旨に賛同し、特集記事の執筆を希望する会員は、原稿を執筆し、通例の投稿原稿と同様に投稿システムを通じて原稿を提出ください。

提出締め切り 2021年9月30日(木) 23:59

※投稿受け付け時に、事務局から技術的な修正点(図の鮮明さ、英文校閲証明書の未添付、文字数の超過、その他)が指摘され、受付まで時間を要する場合がありますので、余裕を持ってご提出(投稿)下さい。

なお、特集企画に向けた原稿であることを明示するため、原稿の末尾に以下の記述を入れてください。

【付記】特集記事への収録を希望します。

5. 査読について

特集企画用の原稿であっても、査読は、通例の投稿原稿と同様の基準で行いません。執筆者は、筆者情報のマスキング等、全て投稿原稿と同様に行なったうえで提出(投稿)ください。なお、特集記事用の原稿は、提出時に以下の水準を求めますので、ご注意ください。

提出時点で、査読者の判定が「そのまま掲載可」あるいはそれに準じるもの(「修正後掲載可」)であること。

原稿の内容に価値があるか不明な場合(あるいは、内容に関わる修正が多数ある場合)、通例の判定は「照会後再判定」ですが、16巻の発刊時期を鑑み、本特集記事用の原稿に限っては「返却」として判定します。この場合は、一般投稿で「新規」として、あらためて投稿ください。

6. 問い合わせ先

本企画について、ご不明の点は下記へお問い合わせ下さい。ただし、査読内容に関する問い合わせには応じられません。

編集委員会 jaderemedia@gmail.com

東海北陸支部協賛 研究会開催報告

東海北陸支部協賛の研究会を、5月に開催しましたので、以下の通り、ご報告します。

1. 日程 2021年5月22日(土)
2. 開催方法 Zoomを用いたオンライン開催
3. プログラム

研究会 (14:00~17:00, 発表45分, 質疑応答10分, 交代5分)

主催:教育システム情報学会東海支部

協賛:日本リメディアル教育学会 東海北陸支部

座長:津森 伸一 (聖隷クリストファー大学)

- (1)「約50年の教育研究活動とJSiSE 東海支部への取り組み」
山崎 初夫 先生 (名城大学)
- (2)「学生の臨床技能を育むための実技演習授業の実践」
矢部 広樹 先生 (聖隷クリストファー大学)
- (3)「スポーツ科学から見た自己と他者のつながり」
若月 翼 先生 (中京大学)

Zoomでの参加者は、講演者を含め25名でした。質疑応答では、活発な議論が行われ、十分な休憩時間が取れないような状態でした。今後は、2021年12月の土曜日に、東海北陸支部が協賛する研究会を開催する予定です。詳細は、東海北陸支部の学会サイト等にて、お知らせしますので、奮って、ご参加の程、よろしくお願いたします。また、全国大会時には、東海北陸支部の総会を開催する予定です。

(文責:津森 伸一 (聖隷クリストファー大学)、
野崎 浩成 (愛知教育大学))

今後の予定

12月11日(土)、中国・四国支部大会がオンラインで開催される予定です。詳細は後日メールリストからお送りします。

会費納入について

会則第 8 条に規定されていますが、本会の 1 年間の会費は次の表に示すとおりでありますので、お間違いのないようお願いいたします。未納の方は、速やかに入金をお願いいたします。会費滞納は、本会の運営に支障を来すこととなります。また、会員としての特典を受ける際に制約を受けることにもなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 年間あたりの会員種別ごとの会費

正 会 員	6,000 円
大学会員	12,000 円
賛助会員	30,000 円

なお、大会などにおいて企業等が展示される場合、当該団体は原則として、会員でなければならない決まりがあります。

また、領収書が必要な場合は学会 HP 問い合わせからご連絡ください。なお、領収書発行事務手数料が別途必要となります。

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り（編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります）。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】藤田 大雪